

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中央公民館施設管理事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	05	06	04	01
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	公民館				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	鶴巻 浩二				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	中央公民館利用者	意図	安全で快適に利用できる状態にする。
事業内容	中央公民館利用者が施設を利用できるよう、施設の維持管理を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和44年開館以来、生涯学習のニーズに応えた整備を心掛けているが、老朽化に伴い臨時的な補修が増加している。平成27年度はロビーの暖房改修、平成28年度は空調冷媒配管修繕、平成30年度には事務室前天井ランプ修繕を行い利用者に快適な環境を提供した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		①	中央公民館施設の稼働率	32.60	32.40	36.70	%	↑↑↑
②	中央公民館施設利用件数の増減率	-4.90	-0.50	13.20	%	↑↑↑	当該年度/前年度-1*100	
③	中央公民館施設利用人数の増減率	1.10	-3.80	33.70	%	↑↑↑	当該年度/前年度-1*100	
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・施設の老朽化による修繕が増加している。 ・平成27年度はロビーの暖房改修、平成28年度は空調冷媒配管修繕、平成30年度には事務室前天井ランプ修繕を行い利用者に快適な環境を提供した。		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,116,334	4,038,145	4,833,146				
事業費(b)(円)		1,201,684	804,065	844,426				
うち一般財源		1,201,684	804,065	844,426				
職員給与費(c)(円)		1,914,650	3,234,080	3,988,720				
人役・職員(人)		0.21	0.34	0.46				
人役・再任用(人)		0.20	0.40	0.40				
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	施設整備を計画的に進め、中央公民館利用者の快適・安全性を高める。	③取組における課題(Check)	施設の老朽化に対応し、順次、緊急性の高いものを優先し、修繕を行っていく必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	事務室前天井ランプが切れたためLEDランプに改修を行った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	施設の老朽化により今後も施設整備を計画的に進めていく